

学校名	県立楯岡特別支援学校寒河江校
交流団体	うまのすけ Cafe
活動テーマ	ミニチュアホースによるアニマルセラピーを、寒河江市立高松小学校の1、2年生と交流をしながら体験する。

〈活動内容〉

○山形市のうまのすけ Cafe さんが所有する2頭のミニチュアホース(ロイとボブ)を高松小学校の校庭に呼んで、馬とのアニマルセラピー(馬の体に触れる、ニンジンあげる、乗馬をする、馬と一緒に歩く、ひき馬をするなど)を寒河江校、高松小学校の児童と一緒に体験しました。

～活動の様子～

「いつも遊んでいる校庭に2頭の馬がいる。」という光景を見たとき、寒河江校の子どもも高松小学校の子どもも、とても驚いた表情をしていました。スタッフから、馬の名前や馬の好きなこと、馬とのかかわり方を丁寧に説明してもらいました。どの子どもも徐々に馬との距離が近くなり、自分からそばに行こうとする子どもが増えました。それでも実際に馬の口元までニンジンを持っていくのは怖いようで躊躇する子どもも多数いました。寒河江校のA君もそうでした。そんなとき、高松小のB君から「ぼく、できるよ。こうするんだよ。」と言う励ましの声がありました。友達からの心強い励ましに、勇気をもってニンジンをあげることができたA君でした。乗馬の場面では、両校の子ども達がお互いに手を振っていました。緊張した表情で身体を固くして馬の背中にまたがった子どもも、次第に笑顔で周囲の声援に応えていました。

〈活動成果・今後について〉

- 高松小学校の校庭で行ったことで、高松小学校の児童以外にも隣接するたかまつ保育所の幼児も来て、寒河江校を含めた3つの施設の子どもたちが一同に馬との触れ合い活動を体験することができました。全員の子もたちが乗馬をすることはできませんでしたが、馬の体に触れる、馬にニンジンをあげるなど、ほとんどの子どもが、馬と直接かかわる体験をすることができました。特にニンジンをあげるとき、寒河江校の子どもが、後から来た保育所の子どもに、自分の持っているニンジンをあげるという場面もあり、子ども同士のかかわりも見られました。
- 今回、多くの保護者も活動を参観してくれました。保護者の多くは、子どもたちの休日の過ごし方に悩んでいます。この活動後、数人の子もは保護者と一緒に乗馬体験をしにうまのすけ Cafe に行ったという連絡を受けました。子どもたちの余暇活動に広がりが出てくれればよいと思います。

